第134回 日商 1級 商業簿記

問 1

連結貸借対照表

(単位:千円)

資	産	金	額	負	負債・	純資	産	金	額
当 座	資 産		36, 200	流	動	負	債		13, 600
棚卸	資 産	2	22, 420	固	定	負	債		70, 000
有 形 固	定資産	2	101, 200	資	7		金		80, 000
の オ	ı A	2	1, 260	利	益	剣 余	金	2	33, 830
その他す			52, 000	その	他の包括	舌利益累	計額		3, 560
				少		主持	分	2	12, 090
合	計		213, 080	合			計		213, 080

連結包括利益計算書

(単位:千円)

当 期 純 利 数 株 主 利 少数株主利益調整前当期純利益 その他の包括利益 包 括 利

産

産

計

資

有形固定資産

金

2

(2 2,030)
(330)
(2, 360)
(2 \(\triangle \) 200)
(2, 160)

債

債

金

金

計

負債・純資産

本

益剰余

動

負

負

問 2

資

座

当

合

T	社	個	別	貸	借	対	照	表

流

利

合

額

16,000

8,000

27,000

51,000

(単位:千円)

金

2

	1 1
額	
2,000	
8,000	
35, 000	
6,000	

問3

連結貸借対照表

51,000

 Ĺ.,	 	

	(単位:十円)		
資産	金額	負債・純資産	金額
当 座 資 産	46, 500	流動負債	28, 800
棚 卸 資 産	30, 410	固 定 負 債	78, 000
有 形 固 定 資 産	129, 400	資 本 金	80,000
のれん	2 2, 880	利益剰余金	41, 310
その他有価証券	55, 500	その他の包括利益累計額	1 6,610
		少数株主持分	2 29, 970
合 計	264, 690	合 計	264, 690

〇印…予想配点

第134回 日商1級 会計学

~~	-	86
-	7 1	
7		

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)]
×	0	×	×	0	各①

3014	7111	HAN
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		
1		

第2問

問 1

資産グループA	資産グループB	資産グループC	
0	0	×	各①



問2

(単位:千円)

資産グループA	資産グループB	資産グループC	
33, 500	25, 746	18, 984	各①

問3

(1) (単位:千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA	1 4,000	33, 500
資産グループB	① 2,731	25, 746
資産グループC	0	18, 984
共 用 資 産	① 4,230	20,770



(2) (単位:千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA	11,053	① 26, 447
資産グループB	10,022	18, 455
資産グループC	0	18, 984
共 用 資 産	① 6,906	18,094

第3問

r	イ	ウ	
会計方針	表示方法	見積り	į
工	オ		
遡及適用	組替え	各①	

〇印…予想配点

第134回 日商 1 級 工業簿記

問 1 仕 品 (単位:円) 月初仕掛品 (1,693,500) 製 品 (**2** 37, 400, 000) 直接材料費 **2** 13, 474, 500) 月末仕掛品 (2 1,011,000) 直接労務費 2 6, 780, 000) 原価差異 (2, 137, 000) 製造間接費 18,600,000 40, 548, 000) 40, 548, 000 (

問2 直接材料消費量差異

137,000 円 (有利差異、不利差異) ②

問3 直接作業時間差異

100,000 円 (有利差異、不利差異) ②

問4 製造間接費総差異

1,900,000 円 (有利差異、不利差異) ②

問5

予	算		差	異	180, 000	円	(有利差異) 不利差異)	1
能	率		差	異	100, 000	円	(有利差異、不利差異)	1
操	業	度	差	異	1, 980, 000	円	(有利差異、不利差異)	1

問6

材料A第1工程消費量差異	5,000 円	(有利差異 、 不利差異)	1
材料 B 第1工程消費量差異	12,000 円	(有利差異、不利差異)	1
材料 B 第 3 工程消費量差異	22,500 円	(有利差異、不利差異)	1
前工程完成品第2工程消費量差異	120,000 円	(有利差異、不利差異)	1
前工程完成品第3工程消費量差異	88,500 円	(有利差異 、不利差異)	1

問 7

第1工程作業時間差異	20,000 円	(有利差異 、不利差異)	1
第2工程作業時間差異	4,000 円	(有利差異、不利差異)	1
第3工程作業時間差異	40,000 円	(有利差異 、不利差異)	1

〇印…予想配点

第134回 日商 1 級 原価計算

問 1

単位・万円) ------

					(単位:万円)	
	20X4年3月期	20X5年3月期	20X6年3月期	20X7年3月期	20X8年3月期	
正味キャッシュ・フロー	3 1, 480	1, 360	1, 360	1, 240	3 1, 180	į

キャッシュ・アウトフローとなる場合には、金額の前に△をつけること。

問2

(3) 1,504) 万円

キャッシュ・アウトフローとなる場合には、金額の前に△をつけること。

問3

回収期間は (3 2) 年

問4

加重平均資本コスト率は (3 12) %

問5

1	① 貨幣の時間価値	2	① 回収期間経過後のキャッシュ・フロー	
3	① 正味現在価値	4	③ 25, 556, 980	
(5)	① 正 負	6	① 相互排他的	
7	① 大き 小さ	8	① 製品 Y	

〇印…予想配点

(注意) 解答速報はTAC㈱が独自の見解に基づき、サービスとして情報をご提供するものです。本試験の結果等(合格基準点・合否)について保証するものではございません。なお、解答速報の内容につきましては予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。